

支える人を支える 京都の 福祉

府社協 HP



公式 X



『京都の福祉』は福祉関係者に福祉の課題や情報を提供する
「京都府社会福祉協議会」(府社協)が発行する広報誌です

2025

11

no.622

自分らしい暮らし・しあわせをともに考える

▼2ページ



●外国人介護人材のいま

▼4ページ

●「我が事」と考える地域づくり

▼5ページ

もえくさ



Y・Y

Y 先日、京都市内の高齢者施設を訪ねた。地元の小学生が施設を訪れ、利用者から昔の暮らしの様子を聞いたり、車いすを実際に体験したりするという、施設見学に帯同したのである。

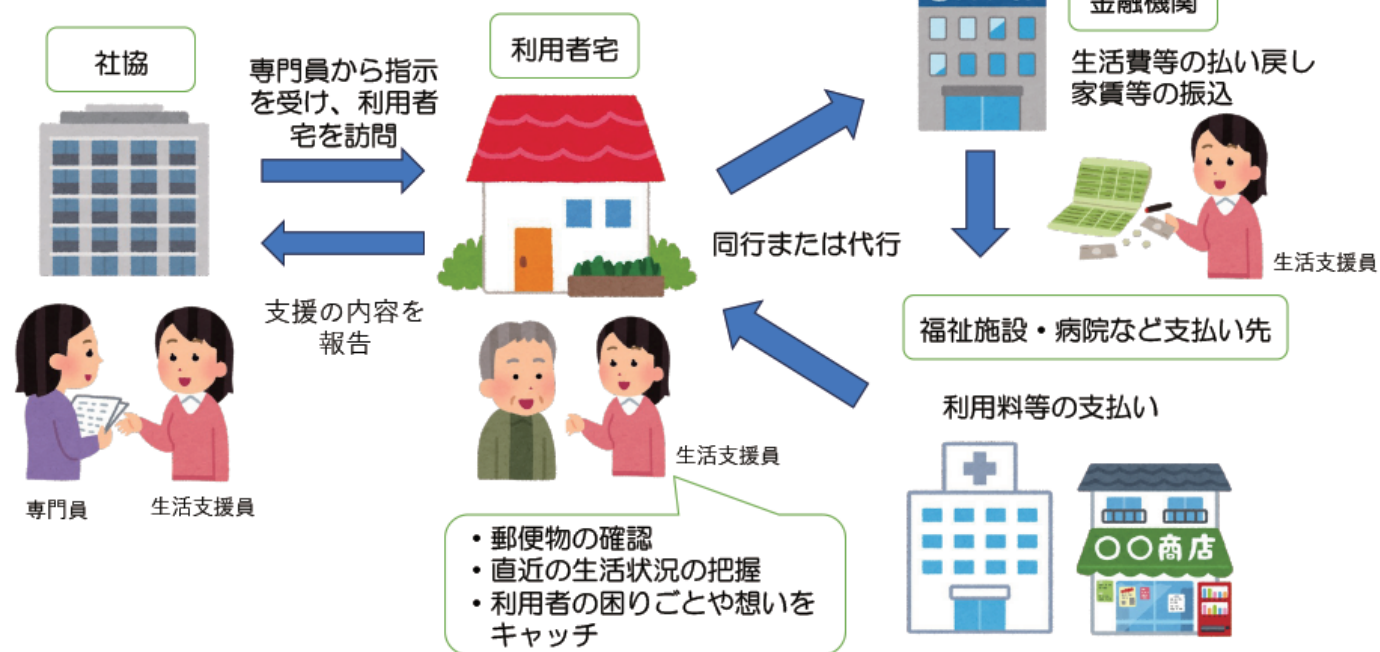
Y 傍らで見ていると、最初は緊張していた子ども達が、徐々に利用者に慣れていく様子がみとれた。配膳や体操のお手伝いをしながら、楽しそうな声や顔を見つけると、こちらもつられて嬉しくなった。

Y この施設見学は、就業年代にはまだ遠い子ども達を対象に、福祉の仕事の理解を深めたり、興味を持ってもらうことを目的とした「次世代の担い手育成事業」という取組で行っているものである。

Y 紙面で「生産年齢人口の減少」といった文言を見る度に不安になるが、まずは、若い世代の子ども達に、福祉の仕事や、自分達の身近にあるものとして理解してもらいたい。そして、誰かを支援する仕事のことについて関心を持ってもらえるよう、福祉の魅力発信に取り組んでいきたい。



生活支援員 支援活動例



生活支援員の方々にインタビュー

Q 生活支援員になったきっかけは？

退職を機に何かボランティアをしてみたかった

人の役に立つ仕事をしようと思った

民生委員やボランティアとして活動していて社協から声がかかった

社協の広報誌を見て興味を持った

Q 印象に残るエピソードなどを教えてください

ランティアの支援により、ゴミも定期的に出せるようになった。いろんな人に支えてもらって「今が一番幸せ」と前向きになられた。

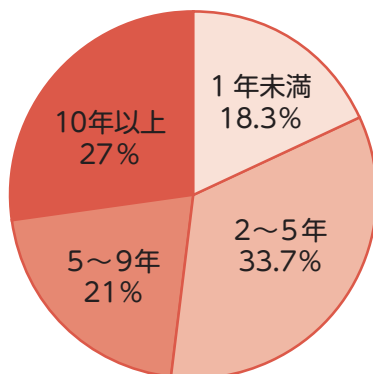
退職後、社会とのつながりがなくなり、何か人の役に立つことがしたいと社協へ相談。生活支援員を紹介され、活動を始めた。利用者のAさんは、気遣いがあって誰にでも声をかけ仲良くなるうらやましい性格。生活支援員の活動をして、今まで出会うことのなかった人、世界とつながることができた。

本人のお金を預かり、支援する仕事。「お金を使いたい」という思いに寄り添いながら一緒に考えていくことに悩むときがある。社協の専門員に相談しながら関わっている。

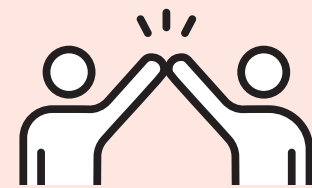
詐欺被害にあい、気持ちも落ち込んでおられたが、訪問を重ねるうちにいろいろとお話をされるようになった。ゴミ出しの困りごとを聞き、専門員へ報告。後日、ゴミ出しをお手伝いするボランティアの支援により、ゴミも定期的に出せるようになった。いろんな人に支えてもらって「今が一番幸せ」と前向きになられた。

地域で活躍中！ 生活支援員 (京都府内)

・活動員 …… 315名
・活動年数 … 右グラフ参照



高齢者や障害のある方が、地域で安心して暮らしていくための支援活動をしてみませんか。お住いの市町村社会福祉協議会まで問い合わせください。



自分らしい暮らし・しあわせを ともに考える

— 地域福祉権利擁護事業・生活支援員の活動を通じて —

福祉サービス利用援助事業は、認知症や知的障害、精神障害のある人たちが、判断能力に不安があっても安心して自分らしく生活していくことを支援する事業です。

事業では、福祉サービスの利用援助、日常的な金銭管理と通帳等の預かり、紛失防止のための書類の預かり等を行い、地域での暮らしを支援します。今回はこの事業で利用者を訪問し、直接支援にかかわる生活支援員の活動を紹介します。

生活支援員は、市町村社協の専門員が作成した支援計画にもとづいて郵便物の確認、年金などの収入の確認、福祉サービス利用料の支払い、日常生活費の払い戻しや仕分けなどの業務を行います。また、利用者との会話の中から福祉サービスへの要望はないか、生活の困りごとはないかを察知すること

の受け渡しは必ず書面等で確認するなど適正な事務も求められます。

本人らしい生活と変化に 寄り添う

生活支援員は、利用者との会話の中から福祉サービスへの要望はないか、生活の困りごとはないかを察知すること

生活支援員は、支援の中でやりとりのした会話や利用者の少しの変化を受け止め、思いを代弁していくことでその人らしい意思決定を支えています。

ます。判断能力が不十分な方のお金を扱う支援であることから、通帳やお金を

支援で関わる中で、「通帳を預かることで不安が減り、表情が明るくなった」「支払いができ、生活が安定した」

「訪問を待つていく」など利用者の新しい変化を感じとり、専門員へ報告し、次の支援につなげています。

この事業を利用する方々の中には、判断能力に不十分さがあることで、うまく思いを受け止めてもらえなかったり、話を信じてもらえないという経験をしている方もおられます。生活支援員は、これまでの生活の中で、周りから疎外されたり孤立しがちな人が、周りの人や社会とつながっていくことをお手伝いしています。

「利用者と関わることによって、自分自身が多くのことを学ぶことができる」これは、ある生活支援員の言葉です。人と向き合い、学び認め合う関係は、これまで疎外されたり、孤立していた利用者の尊厳のある暮らしを支える大きな力となります。生活支援員の関わりは、住み慣れた地域での暮らしを支える本事業にとって大切な役割となっています。これからも一人ひとりに寄り添いながら利用者にとっての自分らしい暮らしをともに考えていきます。

外国人介護人材のいま

「京都府外国人介護人材支援センター」で大切にしていること」

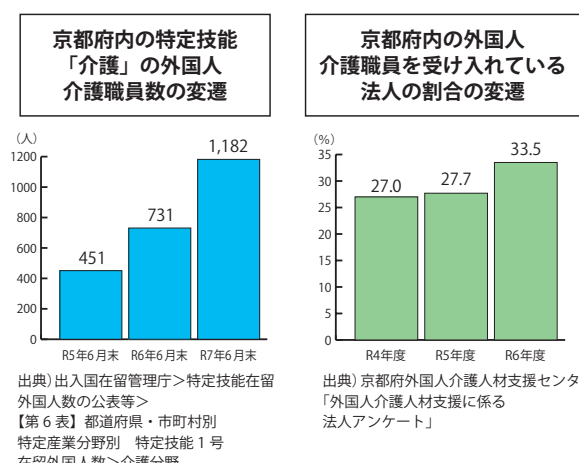


本会では京都府外国人介護人材支援センター（以下センター）を設置しています。第6次中期計画では「外国人介護人材の確保対策の推進」を掲げ、センターによる外国人介護職員の介護技術、日本語等の専門性向上支援や窓口相談業務などにより中長期的な視点で外国人介護人材の確保・育成・定着支援に取り組んでいます。センターの事業内容、事業に取り組むにあたり大切にしていることを紹介します。

データで見る外国人介護人材に係る京都府の状況

介護職員不足を背景に、外国人介護職員の受け入れが進んでいます。とり

わけ特定技能「介護」の在留資格で働く外国人介護職員が増加しています。



京都ならではの強みを生かした外国人介護人材の確保

京都府は日本語学校や大学の数が多く、海外から留学生が多く来日されます。センターの窓口相談のほとんどが留学生からのアルバイトに関する相談です。アルバイトの選択肢がたくさん

ある中で介護を希望するのは、職員や利用者とのやりとりを通じて自身の日本語能力を向上させたいというのが主な理由です。

実際に日本語学校の教員の方に話を聞くと、介護のアルバイトをしている学生は上達スピードが速いそうです。また、最初は外国人介護職員の受け入れに関して不安を感じていた施設の方から、「学校でも日本語を勉強されているので、思ったよりもコミュニケーションができています。若い留学生と一緒に働くことで、さらに活気あふれる職場になった。」という話をよく聞きます。アルバイトで介護の仕事の魅力を知り、介護の仕事続ける方もいます。センターではアルバイトを入口に介護・福祉の世界を知ってもらい、長く活躍してもらえ人材を育成することを大切にしています。

専門性の高い外国人介護職員の育成・定着を目指す

京都で長く活躍してもらえ外国人介護人材を育成するために、センターでは介護技術向上研修や日本語能力向上研修等の研修を実施しています。これらの研修で共通して大切にしている

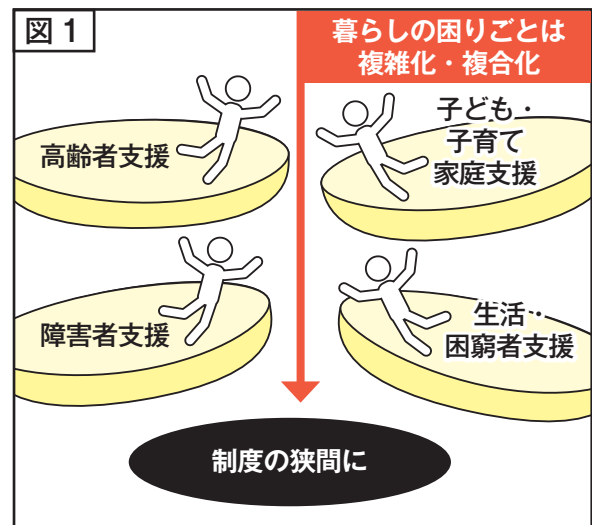
「我が事」と考える地域づくり

「地域共生社会の実現にむけた包括的な支援体制の整備」

「包括的な支援体制の整備」とは

近年、高齢化や人口減少が進み、地域・家庭・職場といった、人々の生活領域における支え合いの基盤も弱体化しています。多くの地域では、社会経済の担い手も減少し、地域社会そのものの存続が危ぶまれています。

こうした社会構造の変化を受け、暮らしの困りごとは複雑化・複合化し、



従来型の社会保障での対応は難しくなっています。※図1

そこで、制度・分野ごとの「縦割り」や「支え手」「受け手」という関係を超えて、地域住民や地域の多様な主体が『我が事』として参画し、人と人と資源が世代や分野を超えて『丸ごと』つながることで、一人ひとりの暮らしと生きがい、地域とともに創っていく「地域共生社会」の実現を目指し、市町村において、既存の相談支援等の



「包括的な支援体制の整備」は、地域住民等と支援関係機関が協力し地域生活課題を抱える地域住民を包括的に支える体制整備を行うものであり、①地域で支え合う機能、②支援関係機関が連携して支援を行う機能、③地域と支援機関をつなぐ機能の整備が重要とされています。

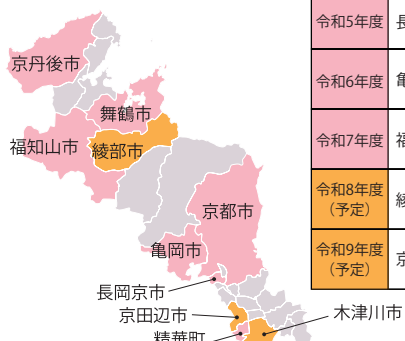
「重層的支援体制整備事業」は、この体制を整備するための事業であり、



重層的支援体制整備事業の詳細については京都の福祉 2023 年 3 月号をご覧ください

京都府内の重層的支援体制整備事業実施状況

実施年度	市町村
令和5年度	長岡京市
令和6年度	亀岡市、精華町、京都市
令和7年度	福知山市、舞鶴市、京丹後市
令和8年度(予定)	綾部市、木津川市
令和9年度(予定)	京田辺市



テーマは「基礎力をつけること」です。特定技能「介護」で実務経験を積み、介護福祉士の資格を取得し、日本で働き続けたいという外国人介護職員の方が増えていきます。

介護福祉士の試験は日本語で解く必要があるため、外国人介護職員の方にとって、日本語と介護の勉強が欠かせません。施設職員が日々の仕事の指導に加え、介護福祉士の試験勉強も指導し、負担が増えているという相談も多く寄せられるようになりました。センターの研修で介護福祉士になるために必要な介護技術と日本語の基礎力をつけ、研修で学んだことを現場で実践してもらうサイクルをつくることで、専門性の高い外国人介護職員を育成・定着することを目指しています。

センターでは今後も施設や関係機関の方々と連携しながら、外国人介護人材の確保・育成・定着支援に取り組んでまいります。センターの事業はホームページ、Xで紹介しています。ぜひご覧ください。



①包括的相談支援、②参加支援、③地域づくり支援、④アウトリーチ、⑤多機関協働を一体的に実施し、「包括的な支援体制の整備」を行う1つの手段として規定されています。

どこの地域であっても、誰も取り残されることのない包括的な支援体制の構築にむけ、「我がまち」の強みや、社会資源を整理し、既存制度の強化や地域資源の繋ぎ直しなど、地域の実情に応じた整備が求められます。

京都府社協は、京都府や市町村、市町村社協等の関係機関とともに地域共生社会の実現に取り組んでいます。3月号では、京都府内市町村の取り組みについて紹介します。

第74回

京都府社会福祉大会を
開催しました

令和7年9月4日、京都テルサにおいて、第74回京都府社会福祉大会（京都府・京都府社会福祉協議会・京都府共同募金会・京都ボランティア協会共催）を開催し、京都府内全域から約500人の方に参加いただきました。

オープニングセレモニーでは、京都府人権啓発イメーτζソング「世界がひとつの家族のように」の作詞家である鮎川めぐみ氏より、イメーτζソング作成の経緯が紹介され、会場



京都府西脇隆俊知事の挨拶

の皆さんと手話を交えて歌い、改めて人の尊厳について考える機会となりました。

表彰式典では、長年にわたり社会福祉事業に貢献された民生委員・児童委員、社会福祉施設・団体、社会福祉協議会の役員の方々やボランティアとして活躍された方、多額の御寄附や御協力をいただいた方々が表彰状・感謝状を受けられました。府知事表彰は、359の個人・団体、府社協会長表彰・感謝は454の個



京都府社協小畑英明会長の挨拶

人・団体、府共募会長表彰・感謝は195の個人・団体、京都ボランティア協合理事長表彰は6の個人へ表彰状・感謝状が贈呈されています。

式典の最後には、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう地域の多様なニーズにこたえる包括的な支援体制の構築を進めていくとともに地域住民一人ひとりが主体となり、支え合い、助け合う共生社会の実現に向けた取り組みを進めていく旨の大会決議文が採択されました。

本会としても、基本理念「つながりをいかして、だれもが尊厳をもつていきることができる社会をつくる」の実現に向け皆様方と連携を密にしながら共に歩んでまいりたいと存じます。引き続き地域福祉のさらなる発展のためにご理解とご支援をよろしくお願い申し上げます。

受賞者からのコメント

京都府災害ボランティアセンター
運営委員 宮城 光夫 様

「福祉」で長年にわたり大活躍されている方々の表彰に混じり、私どもの活動「災害ボランティア」が評価されたことは、「弾みになる！」の一言につきます。これを契機に、「被災された方々への想いを形に変えて届ける活動」を、更に邁進して行きたい所存です。「You are in Trouble, we will help you!」「微力ではあるが、無力では無い！」



利用者の想いを
丁寧にくみ取れる
支援者になりたい



特別養護老人ホーム
サンビレッジ宇治田原 ● 角川 加奈子さん

高校時代、児童養護施設でのボランティア活動に参加したことが、福祉に興味をもつ最初のきっかけだったと話す角川加奈子さん。「ご高齢の方と関わる中で、もっと知りたい」という気持ちが芽生えました。しかし卒業後は福祉とは別の業界に就職し、一度は違う道へ進んだ。

そんな中、20代半ばに訪れたオーストラリアでの体験が転機となる。現地の介護施設でボランティアを経験し、文化も言葉も違うにも関わらず、触れ合いや表情で通じ合えることに喜びを感じた。高校時代の原点が再び心の中で強く息を吹き返し、福祉の道を志す

決意を固めた。そしてグループホームでの勤務を経て、2025年3月にサンビレッジ宇治田原へ入職。現在は入所者の身体介護を担当し、日々の細やかなケアに力を注いでいる。

「『あなたがいてよかった』と言っていただけの瞬間が何よりのやりがいです。それでも、利用者さんとどれだけ親しくなっても、家族でも友だちでもありません。大切な命を預かっているということとを常に肝に銘じています」。

今後の目標を聞くと「ご本人やご家族と信頼関係を築き、想いを丁寧にくみ取れる支援者になりたい」と快活な笑顔で語ってくれた。

◆この職場を選んだ決め手は？

自宅から近いこともありますが、いろいろなご縁があり、こちらでお世話になることになりました。

◆職場のいいところ

職員みんなが明るくて、笑顔が絶えません。ちょっとした気づきも声に出しやすく、チーム全体で支え合える雰囲気があります。

◆休日の過ごし方

家族とキャンプに行ったり、友人と食事をしたりして気分転換しています。

【施設名】(福)長楽会 サンビレッジ宇治田原
【場所】京都府綴喜郡宇治田原町禅定寺砂川 115-1
【URL】<http://sunvillage-ujitawara.jp/>
【TEL】0774-88-5311



令和7年度

スケールメリットを活かした割安な保険料で
充実補償をご提供します！



ホームページでも内容を紹介しています
<https://www.fukushihoken.co.jp>



社会福祉施設総合損害補償

しせつの損害補償

◆加入対象は、社協の会員である社会福祉法人等が運営する社会福祉施設です。

プラン1 施設業務の補償

(賠償責任保険、医師賠償責任保険、看護職賠償責任保険、サイバー保険、
動産総合保険、費用・利益保険)

1 基本補償(賠償・見舞費用)

保険期間1年

▶保険金額		基本補償(A型)	見舞費用付補償(B型)
賠償事故に対応	身体賠償(1名・1事故)	2億円・10億円	2億円・10億円
	財物賠償(1事故)	2,000万円	2,000万円
	受託・管理財物賠償(期間中)	200万円	200万円
	うち現金支払限度額(期間中)	20万円	20万円
	人格権侵害(期間中)	1,000万円	1,000万円
	身体・財物の損壊を伴わない経済的損失(期間中)	1,000万円	1,000万円
お見舞い等の各種費用	徘徊時賠償(期間中)	2,000万円	2,000万円
	事故対応特別費用(期間中)	500万円	500万円
	被害者対応費用(1名につき)	1事故10万円限度	1事故10万円限度
傷害見舞費用			死亡時 100万円 入院時 1.5~7万円 通院時 1~3.5万円

▶年額保険料(掛金)

定員		基本補償(A型)
基本補償(A型)	1~50名	35,000~61,460円
	51~100名	68,270~97,000円
	以降1名~10名増ごと	1,500円
見舞費用付補償(B型)	基本補償(A型) 保険料 + 【見舞費用加算】 定員1名あたり 入所：1,300円 通所：1,390円	

- オプション1 ● 訪問・相談等サービス補償
- オプション2 ● 医務室の医療事故補償
- オプション3 ● 看護職の賠償責任補償
- オプション4 ● 借用不動産賠償事故補償
- クレーム対応サポート補償

2 個人情報漏えい対応補償 3 施設の什器・備品損害補償

プラン2 施設利用者の補償

(普通傷害保険)

- 1 入所型施設利用者の傷害事故補償
- 2 通所型施設利用者の傷害事故補償
- 3 施設送迎車搭乗中の傷害事故補償



プラン3 職員等の補償

(労働災害総合保険、普通傷害保険、約定履行費用保険、雇用慣行賠償責任保険)

- 1 職員の労災上乗せ補償
使用者賠償責任補償
- 2 役員・職員の傷害事故補償
- 3 役員・職員の感染症罹患事故補償
- 4 雇用慣行賠償補償



プラン4 法人役員等の補償

(役員賠償責任保険)

社会福祉法人役員等の賠償責任補償

● このご案内は概要を説明したものです。詳細は「しせつの損害補償」手引またはホームページをご参照ください。●

団体契約者 社会福祉法人 全国社会福祉協議会

〈引受幹事
保険会社〉

損害保険ジャパン株式会社 医療・福祉開発部 第二課

TEL：03(3349)5137

受付時間：平日の9:00~17:00(土日・祝日、年末年始を除きます。)

取扱代理店 株式会社 福祉保険サービス

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F

TEL：03(3581)4667

受付時間：平日の9:30~17:30(土日・祝日、年末年始を除きます。)

(SJ24-11108 より抜粋)